

第6章

未来の越谷

越谷のまちには、子どもたちの笑顔や夢、希望があふれています。
ここでは、未来の越谷を担っていく子どもたちの思いが詰まった、写真・絵画・作文を紹介します。



葎屋敷で
ガーヤちゃんと!

リユース展望台
から!



南越谷阿波踊りに参加!



産業フェスタで
甲冑姿!



田んぼアート
の前で!



ひまわりフェスタで花いっぱい!



ウッドデッキステージでダンス!



ウッドデッキのキャンドルと一緒に!



みんなで防災キャンプ!





みんな楽しい市民まつり！

一糸乱れぬよさこい！



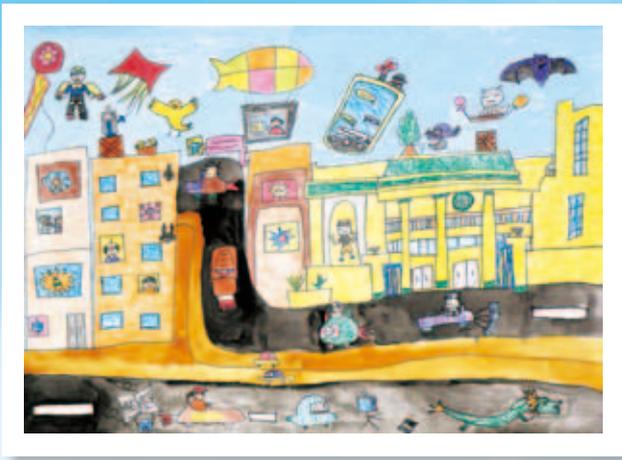
チームで力を合わせて勝利！

はしご車の前でポーズ！



工場見学で勉強中！

消防音楽隊の前で披露！



越ヶ谷小 3年 小林 幸四郎

「まず日本と中国をまぜました。あと、こしがやしょうもかいてロボットもかいて、こしがやをみらいぼくしました」

未来の越谷 ～ 大好きな地域の 未来の風景 ～

誰にでもある、地域のお気に入りの場所、大好きな風景。

それらは、10年後の未来、

どのようになっているでしょうか。

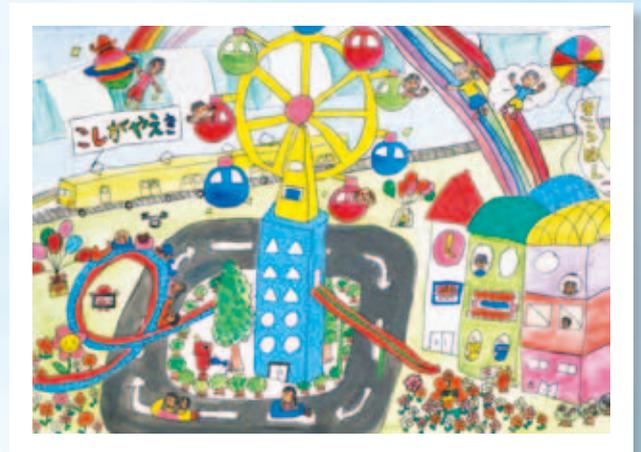
ここに載っている作品は、小学生の思いが
たくさん詰まった、10年後の越谷の風景です。

(順不同・敬称略)



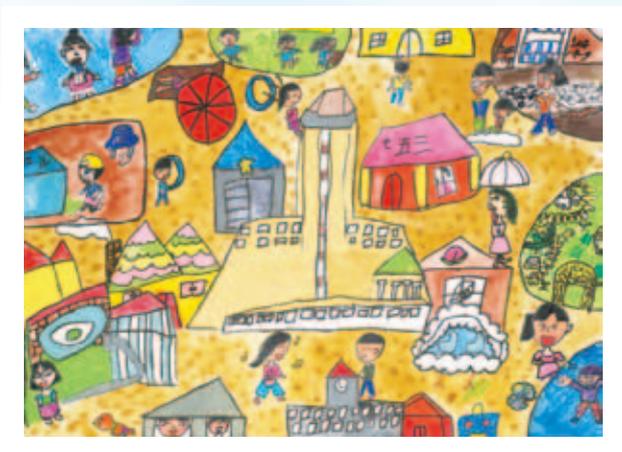
大沢小 3年 八木橋 那弥

「越谷市がもっとにぎやかになるように、いちょうの形のロケットやたくさんのシラコバトを描きました。10年後には今よりもっと楽しい越谷になりたいという思いを込めました」



越ヶ谷小 5年 小林 幸乃

「未来の越谷駅を想像してみました。花や木が未来にもあったらいいなと思い、楽しい遊園地と一緒に描きました」



新方小 2年 岡田 萌生

「わたしが大好きな、こしがやのふうけいは、リユースです。リユースのまわりの車がロボットや、くもになっていたりリユースのまわりが、とかいみたいになっていたらいいと思います」



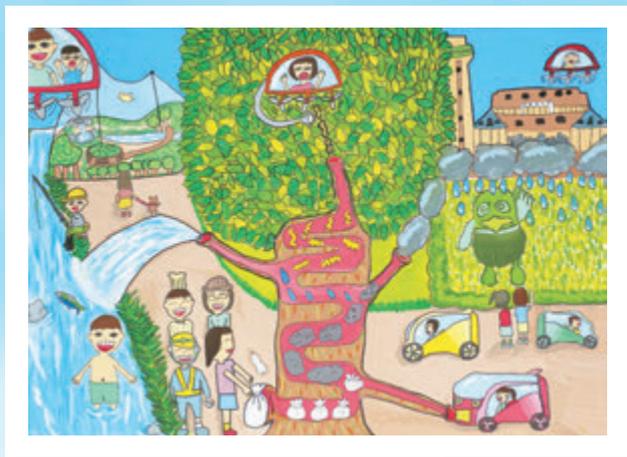
大沢小 6年 牛渡 結香

「この絵は、10年後の越谷をイメージして空飛ぶ車や高いビルを書きました。この絵で最も工夫した所は空飛ぶ車をカラフルにした所です。また遠い車は小さくしました」



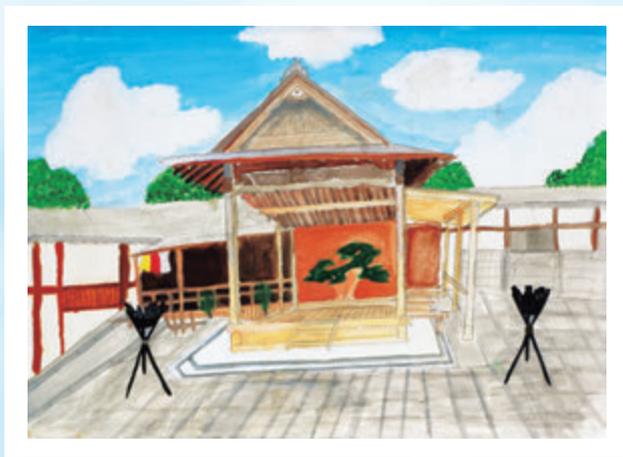
桜井小 3年 高山 友那

「筆箱に乗って、自分の好きなことをしながら越谷市を一周しています。川や建物がたくさんあって、とても楽しいです」



新方小 6年 鈴木 葉瑠

「中央の木にゴミを入れると、川に流れるきれいな水が変わったり、車の燃料が変わったり、田んぼに水をふらす雲になったり、空飛ぶ乗り物のエネルギーになったりします。そんな木が発明されて、もっと豊かになる越谷をイメージしました」



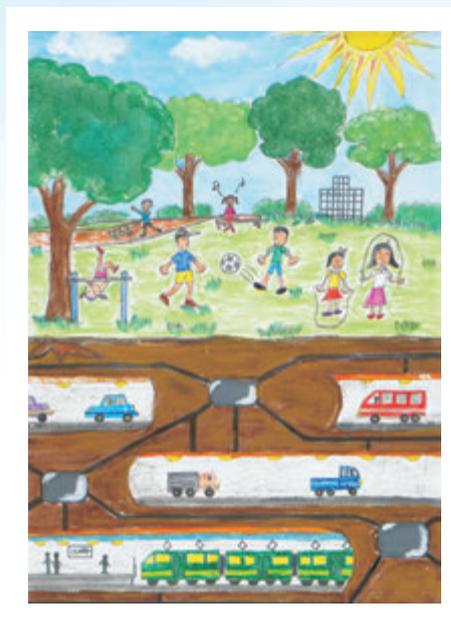
桜井小 5年 木島 理絵

「これから先も、この素晴らしい伝統が受けつがれていってほしいです。未来の越谷にいつまでも残り続けると願っています…」



大袋小 5年 井手 恵美花

「大袋の自然が残り、まちも発展して欲しいです。車を通る道を透明ガラスで囲んだところを工夫しました」



大袋小 2年
谷内 由奈

「車と電車が、ち下をはしれば、わたしたちが思いきりあそべる大きな広場が、たくさんできます」



荻島小 5年 松沢 柚杏

「未来の越谷市に近づけるようにいろいろな建物の色を変えたりして町をカラフルにしました。そして、季節ごとに風景を変えたりして、未来を想像しました」



荻島小 3年 加藤 愛

「この絵は人やガーヤちゃんがうちゅうで遊んだりうかんだりしているようすです。みらいではいつでも自由にこし谷からうちゅうに遊びにいけるような絵にしました」



出羽小 3年 平田 心路

「越谷で有名なチューリップ。10年後は、チューリップでできたショッピングモールができればいいな」



蒲生小 2年 猪股 柚子

「十年ごのわたしのこしがやです。車は、空をとびます。くもの上にもじの上ものれます。生きものとなかよくなれます。どんな人でもあそべます」



出羽小 6年 宮脇 清子

「新しい生物、乗り物たくさん新しいがあって、だれでも幸せになれる町になったよ」



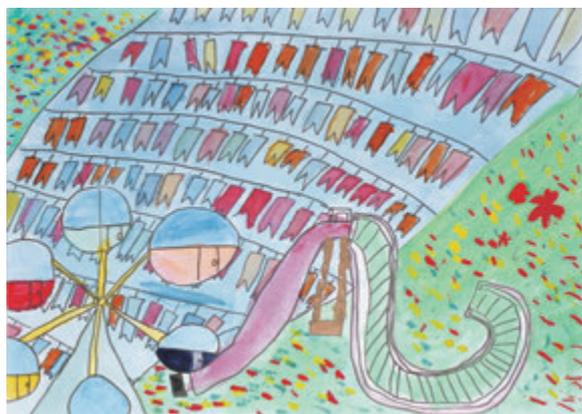
大相模小 3年 鈴木 紗圭

「おとうさんがじんじやのでんきをなおしたことがあるのでかき
たいと思いました。がんばったことはやねの線です」



蒲生小 5年 石崎 心裕

「ガーヤちゃんに家ぞくができて、みんなであわおどりをおどる
10年後」



大相模小 4年 戸部 莉亜来

「近所にある、こいのぼり公園の未来のすがたをかきました」



増林小 5年 関根 隆保

「リユースターの上から見た学校の周りは、公園ができたり、
ふん水ができたりして楽しくなりました。増林小からは友だち
の明るい笑い声が聞こえます」



増林小 3年 落合 龍之介

「学区探検で『いちごタウン』に行きました。10年後の『いち
ごタウン』では、ロボットが水やりやへた集めなどの仕事をし
ているのではないかと思います」



川柳小 6年 佐々木 琥太郎

「ぼくは家の近くのレイクタウン前の池をえがきました。早朝に書きに行ったぼくはさわやかな風にふかれてとても良い気持ちになりました。この場所をもっとたくさんの人が知れば今よりもっと良い越谷になると思います」



川柳小 3年 金子 莉音

「越谷市はいちごが名産なので、いちごの列車を描きました。また、私の大好きな場所は、そのまま残ってほしいという思いで描きました」



南越谷小 2年 蓮見 優梨愛

「ハッピーランドには、おんせんやお花畑があります。川には魚がいて楽しそうにおよいでいます。みんなハッピーになれます」



蒲生第二小 3年 川俣 遥

「私は、近所のお友達と花火をしたときの絵をかきました。色とりどりの光がお花のようでとてもきれいでした」



南越谷小 5年 中田 泰陽

「今年のゴールデンウィークに家族でこいのぼりを見に行きました。大きくてカッコいいと思いました。風になびくこいのぼりを見て空の上の春を感じました」



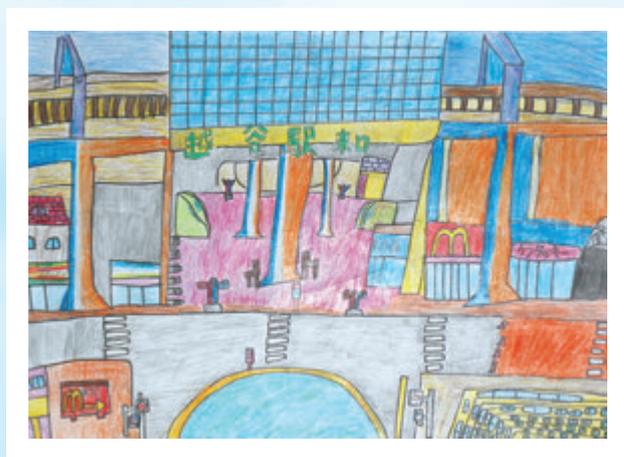
東越谷小 2年 玉置 玲衣

「レイクタウンのいけで、ふねにのってあそんだり、サーフィン
をすることができ、それをみんなで、たのしんでいます」



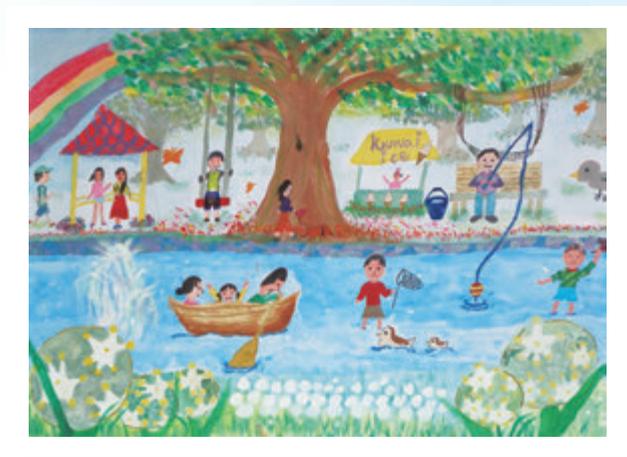
蒲生第二小 6年 高瀬 鉄平

「私はこの絵をかく前、『未来に花はあるか』と考えました。そ
こで未来のまちに花をかき、未来に花が残ってほしい願いを表
しました」



東越谷小 5年 増山 輝

「未来の越谷駅はとても派手であざやかなになっていると思い
ました」



大沢北小 6年 村岡 柚香

「コシガヤホシクサの野生復帰を願ってかきました。川で遊んだり、
木にハンモックやブランコがあったり…だれでも自然とふ
れ合える場所があったらいいと思います」



大沢北小 3年 井上 未悠

「今年たん生生日だったチューリップフェスタ。10年後行った
時は私の大好きな水色のチューリップもあるかも」



大袋北小 6年 花島 奈々

「この絵は、現在の建物などでつくりえない物や、越谷に高層タワーができたらいいなと思ってかきました」



大袋北小 6年 土井 穂莉

「私は、空を飛ぶ不思議なイスに乗って、新しいモノレールや楽しい遊園地をながめています。笑顔いっぱいな未来の越谷市を描きました」



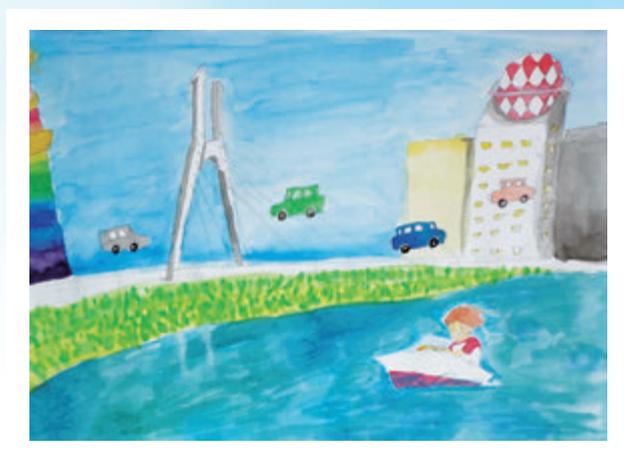
蒲生南小 3年 吉岡 花音

「何十年たっても、人や生き物やしぜんがなかよくくらしているようにイメージしました」



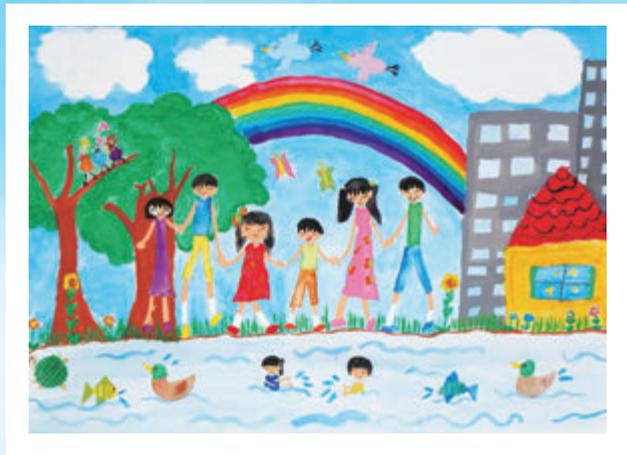
北越谷小 1年 田中 美寧

「いつも見ている家の前の元荒川。10年後には虫が息するほど水がきれいで、たくさんの人が遊ぶ川になっています」



蒲生南小 5年 正木 陽和

「緑はのこして新しいビルや建物がたって車が飛んでいる。川の水はきれいになりみんなが遊べるようになる」



大袋東小 2年 福田 彩乃

「川が泳げるくらい綺麗になっていて、みんなが仲良く暮らせる明るい越谷です」



北越谷小 5年 井沢 ほの香

「私は10年後でありながら、あえて場所や遊具を変えていません。なぜかという、10年経っても今のままのこりつづけて、ほしいからです。私は、そうゆう思いをこの絵にたくしました。この思い、とどくといいです！私の大好きな四丁目公園（かえる公園）」



大袋東小 5年 高野 莉央

「元荒川の桜並木とその上にある東武線の風景が大好きです。桜並木を大切に保護して十年後も変わらない風景が見られることを願います」



平方小 6年 山口 紗羅

「越谷市がお花の世界に包まれた絵にしました。お花だけでなく、カラフルなじもかき、色を明るくしました。また、みんなが楽しんでいるような絵にしました」



平方小 2年
六笠 遥希

「10年後の越谷を描きました。空に浮かぶマンションがあったり、巨人と小人と一緒に住んだりします」



弥栄小 6年 清水 愛花

「10年後の越谷に、あこがれのタワーがあるといいなと思ってかきました。今も、10年後も、100年後も、越谷にいるみんなが笑顔で、平和な越谷をイメージしました」



弥栄小 1年 上神谷 杏夢

「カラフルな花が咲き、動物も人も宇宙人も一緒に生活できるような平和な越谷」



大間野小 2年 北村 優芽

「たのしくてべんりでみどりがあふれる10年後になってほしいからです」



宮本小 2年 小高 紗奈

「みらいの越谷に動物公園があったらいいなと思って描きました。動物公園では、動物に乗っても大丈夫。ぞうのしっぽですべったり、ライオンとおいかげっこをしたりできます。みんななかよしです」



大間野小 6年 斉藤 颯汰

「この絵は、最近ぼく達が利用している七左第三公園の10年後を予想して書きました。10年後は空にういている公園になっていたらいいなと思って書きました」



西方小 3年 一柳 美尋

「未来の越谷は、元荒川が天の川のようにきれいでほうきのむりょうタクシーがあり、車がなくてもみんな自由に空をとんでいことができます」



宮本小 6年 柏崎 惺太

「日本の未来はこんなかんじかなと思いながらかきました。空を飛んでいる車や、横を向いているビルは、こんなすごい日本になってほしいと思ったのでその絵をかきました。そして、なるべく細かく遠くの物までリアルな絵をかきました。そして、今ある日本の建物も再現してかきました」



西方小 4年 小久保 奏音

「昔、ライトアップされていたようだが、電気の省エネ化が進んでまた橋がライトアップされたらいいなと思いました」



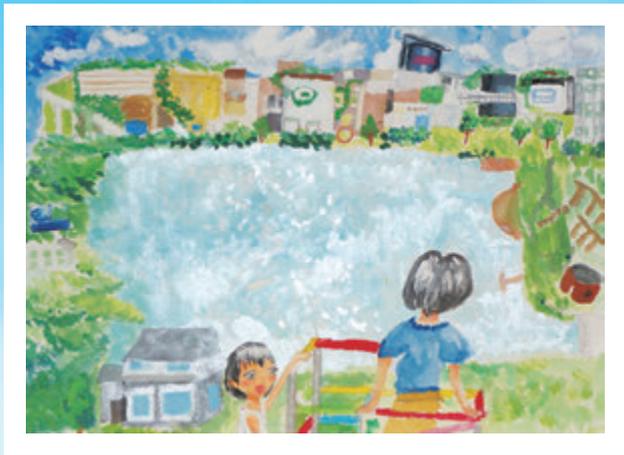
鷺後小 5年 千葉 日虹

「虹の信号や越谷の特産物の建物をつくったりして、未来感を出しました。また、川遊びのできるようなキレイな川になってほしいのでザリガニなどを書きました」



鷺後小 3年
栗坪 映瑠

「私は越谷に流れる元荒川の桜並木が好きで毎年春になると、お花見に行きます。そこに生き物と人が楽しくくらすせたいなと思いました。すむ場所は桜の木の上的ツリーハウスです」



明正小 5年 青野 優

「美季の杜のジャングルジムから見たレイクタウン。緑が成長し、湖はもっときれいで青くすんでいます。私をおだやかにさせてくれる、大好きな場所です」



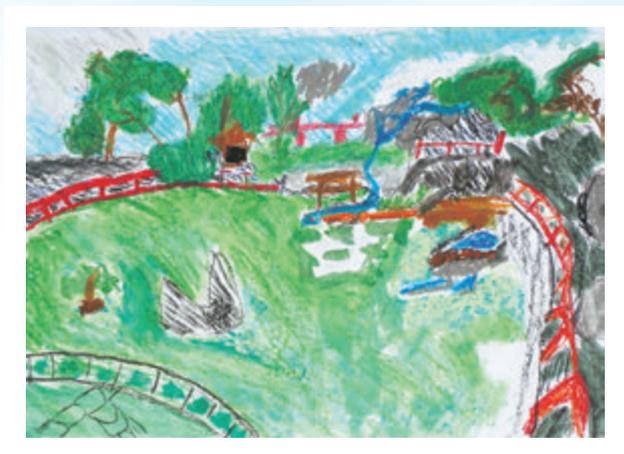
明正小 2年 成瀬 想真

「僕の大好きな大相模調節池。10年後は、湖の周りに遊園地や動物園、プールやキャンプ場があって、カヌーで行き来できるといいなと思います」



千間台小 3年 平野 瑞季

「魚たちが、カラフルなサメの船に入って遊びに来ています。船の中ではテレビを見たり料理を作ったりしています」



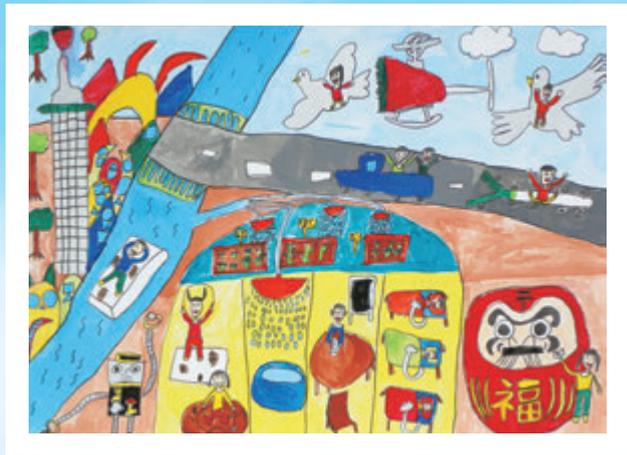
桜井南小 5年 深野 裕希

「この絵は、ひさいずじんじやの、池をかきました。がんばったのは、水と木の色が同じ『みどり』だったので、すこし色をかえてみました」



千間台小 6年 山田 陸真

「エアコンから想ぞうして未来の飛行機をかき、そこから未来の都市を想ぞうをふくらませてかき、電車やドローンなどもかきました」



花田小 3年 後上 凜乃

「だるまのポスト、ねぎの車、たろべえもちのポート、イチゴのヘリコプターやタワーなど、越谷のとくさん物を使ったおもしろい町に未来の越谷になってほしいと思ってかきました」



桜井南小 6年 野口 隼志

「東武スカイツリーラインの駅やホームは、全部ガラス、街の景色がよく見えるよ。空飛ぶ車や電車は、もちろん自動運転」



花田小 4年 野澤 慧華

「車は自動運転、排気はお花が出て緑いっぱいになります。二十になる私はこんな越谷に住みたいです」



城ノ上小 5年 成田 真央

「私は学校が大好きです。大きくなったら城ノ上小学校の先生になります。自然がいっぱいのこの風景を10年後、教育実習生として見たいです」



城ノ上小 3年 屋嘉比 香織

「未来の越谷の『ネギ公園』をかきました。ネギを食べたりあそんだりできます。ネギがもっとすきになります」

未来の越谷

～10年後の自分へ～

10年後の自分への約束、10年後の自分への手紙…、
10年後の自分に向けて、
皆さんはどんな言葉を贈りたいですか。
ここに載っている作品は、
越谷で暮らし、越谷のこれからを担っていく中学生が、
未来の自分に宛てて書いたものです。

(順不同・敬称略)

協力は伝統へと

中央中2年 戸井田 尚子

十年後私は何をしてしているだろうか。今の自分より幸せだろうか。そんな疑問が脳裏を横切った。

私が今、夢見ていることは、宝塚歌劇団に関わる職に就くことだ。この夢を抱くようになったのは少し前のこと。初めて宝塚を親に行った時だった。音楽が鳴りはじめた瞬間にタカラジェンヌ達は華麗に舞い、キラキラ輝いていた。私は一瞬にしてとりこになってしまった。それからというもの、宝塚について多くのことを調べた。彼女達はなぜ輝いているのか。その答えは彼女らの努力、そして、裏で支えるスタッフの力によるもの大きいことがわかった。ジェンヌ達の衣装をつくる衣装部、スターを照らす照明さん、ダンスの

の指導をする振付師の方など、実にたくさん
のスタッフの協力のもと、この劇は完成して
いるのだ。

今や日本の娯楽といわれている宝塚。百年
という長い歴史の中で伝統が途絶えたことは
一度もない。それはみんなの協力があつたか
らこそ実現したこと。私はどんな小さな仕事
でもいい、そこに携わり伝統を守り続けたい
と思っている。

十年後の私へ。これが十四歳の私が抱いて
いることだ。二十四歳の私の夢は変わってし
まうかもしれない。けれど、忘れたくないこ
とが一つある。それは、伝統を守り続けるこ
と。現在「AI」の技術が発展し、人の手が
いらなくなっている。一方で日本の文化、伝
統が消えつつある。そんな世の中でも守りた
いと思う人が一人、二人いるだけで伝統はは
るか未来まで続くことができる。我々は身近
にあるものを大切にしていけることが伝統への
第一歩ではないのか。そう思っている。

大好きな越谷市

中央中3年 關 音花

「越谷市の良いところはどこだろう。」

そう考えるとたくさん良いところが見つ
けられる。例えば、「越谷レイクタウン」な
ど都市化が進んでいるところもあれば、自然
に囲まれているところもある。また、「しら
こぼと運動競技場」という大きな競技場もあ
る。そして、家から少し歩けば、「能楽堂」や「花
田苑」など伝統、歴史に直接触れることもで
きる。そんな活気にあふれた越谷市が十年後
どのような風景になっているのだろう。考え

ただけでもわくわくしてくる。

十年後、私は二十五才になる。大人になっ
ても越谷を好きだという気持ちは変わらな
い。

しかし、最近では畑だったところが段々と
住宅へと変わっていつている。また、ポイ捨
てが増えていると感じる。このようなことが
続いてしまったら暗い空気になってしまっ
たろう。そんなことにはなつてほしくない。だ
から私は、ポイ捨てを注意したり、積極的に
参加していきたいと思う。

越谷の良いところは越谷に住んでいる私た
ちにしか分からない。二年後、東京オリンピッ
クがある。そこで、外国人やたくさんの方が
越谷にも来るかもしれない。そこで、「越谷つ
て良いところだな。」と思われるためにも、
十年後、自然も都市も共存しているためにも、
今の私達にできることは積極的に行ってい
きたい。全ては、私の大好きな越谷のために。

昔の自分

東中3年 陽岡 一路

十年後の自分。そんなものは想像できませ
ん。五年前の自分が今の自分を想像できてい
なかったのに、二倍先の事を思い浮かべる方
が無理です。就きたい仕事も明確になつてい
ないから、社会人になつているであろう自分
が何をしているのか分かりません。

だから、僕は十年後に大切にしていてほし
い過去の話を書きたいと思います。

僕は引越して、越谷に来ました。二
年の夏のことです。学校も変わることに
なりました。僕は前の学校に入学した時、当然の

ようにその学校を卒業できると思っていました。それが今、ここにいるのだから、十年先には何が起きていてもおかしくはないと本気で思います。

転校したのは二学期でクラス内での関係性も決まっている中に入るのは、難しいと思っていました。転校して二ヶ月くらいは毎日が大変だったのをすっかり覚えていません。周りにいるのは知らない人だけで、学校のことまだまだよく分かっていなかったから不安でした。学校に行くのがつらかった時期でした。それでも、投げ出さずに学校に行くうちに慣れてきて、楽しめるようになりました。投げ出さずに学校に行けたのは、何かいいことがあるかもしれない、と前向きに捉えられたからだと思います。それがつらい時を乗り切る方法だと嫌々学校に通った間に学びました。学校に行くのが本当につらかったから、無理にでもそう思うようになりました。

この経験は今の自分にとって、自信につながっています。これから先、自分のいる環境が変わっても、大丈夫だと思えるようになりました。僕は来年には高校生で、知らない事もたくさんあるだろうけれど、上手くやれるはずだと思います。

十年後、自分が何をしているのか、今は全く分からないけれど、この経験を自信にして上手に生きていて欲しいと思います。

十年後の自分に贈りたい言葉

東中3年 齋藤 瑠那

私は、十年後の自分へ「実力は自分が頑張つて努力した分しかつかない」という言葉を贈

りたい。なぜなら、もし十年後、自分の実力で海外で仕事をするという夢を叶えていたら、今している努力が無駄ではなかったという証明になるからだ。

私には、海外の小さなお店で作られているおいしい物を、バイヤーとして世界中に発信するという夢がある。これには、私の家族が全員、料理に関わる仕事をしているということが大きく関わっている。国内外問わず、小さい頃からおいしいものを食べる機会が多かったため、世界の料理に興味を持つことができた。また、海外で働く日本人バイヤーをテレビで見て、かっこいいなと感じたことから海外で仕事をするという夢が生まれた。

今私は、この夢を叶えるために、海外の映画を字幕で見たり、常に家で英語の曲を聴いたりしている。このような些細なことから努力を重ね、学校の授業でも手を抜かず、意識して取り組んでいる。また、学校のALITの先生と積極的に英語で関わることで、外国語が異文化だという先入観をなくすように努力している。

これらの努力を無駄にしないためにも、十年後の自分には、世界へ羽ばたいて活躍するということを約束してほしい。

しかし、十年の道のりの中で自分自身の人見知りや原因で相手と上手くコミュニケーションがとれず、挫折してしまうこともあるかもしれない。そういった現状が既に分かっているならば、今のうちからたくさんの人と関わり、一刻も早く人見知りを直したい。そのためには、人と関わる時に、自ら心を開いて歩み寄っていくことが大切だと思う。

夢を実現させるその日まで、進路希望である料理専攻の高校や語学の専門学校で今でき

るかぎりの努力を積み重ね、その努力に見合った実力をつけ、明るく楽しい輝いた十年後を迎えたい。

十年後の自分へ

西中3年 藤井 菜白

未来の自分、何をしていますか。今、十五歳の私は進路の事で悩んでいる真つ最中です。今の将来の夢は幼稚園の先生になることです。もし、未来の私の意志が変わっていないとしたら、新米先生として日々頑張っているところでしょう。また、もしかしたら、今の私には想像もできないような違う道に進んでいるかもしれませんね。いずれにせよ今の私は未来の私を知ることが出来ません。けれど、私らしく日々奮闘していると思います。

十五年間生きてきた今の私。この十五年間で作った思い出はたくさんあります。小学校の頃の一番の思い出は林間学校。中学校での一番の思い出は今のところ修学旅行です。このメッセージを書いているのは七月ですが、たぶん卒業する頃には、中学校生活一番の思い出は三年間全部なんて言っていることでしょう。未来の私はもう二十五歳。なのでもうずっと昔の思い出になつていっていると思います。二十五歳だつたら忙しくて昔の事を思い出す暇もないかもしれません。

今の私にとっては、二十五歳といつたらすごく大人で、まだ自分には手の届かない世界です。けれど十年間はあつという間で、気がついたらもう二十五歳になつているのだと思います。もう二十五歳。けれどまだ二十五歳。駆け出しの社会人にとっては微妙な年齢なのかもしれません。ただ一つだけ今の私に言えることがあります。それは「過去は戻ってこない」ということ。今と未来は自分の力で変えることができる。けれど、過去は変えられない。だから未来の私が後悔しないように、

今の私は「今」を大切に過ごしていきたいと思つています。なんてえらそうに言っているけれど、未来の自分、これからも頑張つて下さい。

十年後の自分へ

西中3年 深井 菜々子

十年後の私、つまり二十四歳の私は、どのような人生を歩んでいるでしょう。まだ進路は、想像もできないことです。本当に想像がつかないです。ということ、私は主に三つの事を知りたいのです。

まず一つ。「進路は実現していますか。」十年後の私にとっては懐かしい高校だとは思いますが、私にとっては一年後、始めて自分で選んだ進路です。もしかして、今考えている所とは違う所でしたか。だとしても、楽しい高校生活を送ることができたなら、私はそれで十分です。

二つ目。「新しい家族がいたりしますか。」お母さんはそれくらいで結婚したので、ありえないことではない。今はなくても、いつかはいるといいな。料理が多少はできるようになつていることを信じます。

最後です。「どんな仕事をしていますか。」正直、一番不安であり期待しています。自分に合っていますか。そもそも仕事してますか。テレビに出てるとかはあまりに非現実的すぎるので、おそらく無いとは思いますが、何をしていますか。

私は、今よりもっと、充実した毎日を送つていてほしい。この人生を歩むことができている良かつたな、と思えるような私でいてほしい。

もしかしたら、思いもよらない困難があるかもしれませんが、後悔していないでほしい。三つの質問の答えが返ってくるわけではない。でも、十年後、今の私を思い出して大丈夫、順調だと思えるように、今せめてできることを一生懸命やっています。そして、未来の私のために私なりの方法で努力をしていきたいと思つています。なにより、健康に生活していますように。それが一番大切だと思います。

今の私から未来の自分へ

南中3年 高崎 彩楓

十年後の私は、何をしていますか。

未来の私は二十五歳をむかえている頃ですね。順調ならば、きつとウエディングプランナーになつて何年か経ち、先輩という立場になつているのではないのでしょうか。仕事は楽しいですか。私のことだから、失敗ばかりしているのではないのでしょうか。

今まで私は、早く大人になりたいと考えてきました。が、受験生という時季をむかえて、不安しかありません。この受験が終わつても、三年後にはまた受験があります。未来の私は本当に理想を現実にできていますか。今の私には、限られた選択肢の中から最良のものを選ぶ道しかありません。でも、未来の私にはそんな狭い生き方をしてほしくありません。人生の選択肢を多く持つていてほしいです。その多くの選択肢を得るためには、今の私が道を切り拓いていかななくてはなりません。私の未来をより良いものにするために私は今自分ができる全てを全力で頑張りたいと思いま

す。時には壁にぶつかるとあると思いません。でも、その壁にぶつかったことによつて、また私は一步成長し、大人になっていくと思えます。だから、壁にぶつかることを恐れず、「私らしき」を大事にしてほしいです。

未来の私には、十五歳の私では見られない世界が広がっていると思います。苦勞してそこに立っていると思います。正直、諦めかけたこともあったと思います。それでも私は前向きに生きてほしいです。個性を大事にしてほしいです。自分自身や、周りの人のことを大切にしたいです。やりたいことをするのなら、妥協せず、努力をして、その先に見える景色を、努力した人しか見れない景色を見てほしいです。今の私は、たくさんその後悔があります。しかし、未来の私には決して後悔のない人生を送ってほしいから、私は今自分の未来のために一つ一つ色々なことを経験して、よりよい道を選ぶために、今日も全力で頑張っています。

十年後の自分へ

南中3年 宮野 秀隆

今から十年後という、私が二十五歳になつている頃だろうか。これからの十年間、すごく苦勞するのか、はたまたすごい幸運に恵まれているのか、正直今の私には想像もつかない。しかし、楽しいことばかりではないだろう。今の私は十年後の自分に、たくさん困難を乗り越え、たくましく成長していてほしいと思つている。

私は今、警察官になりたいと考えている。これは、私の両親が警察官ということで強く

影響を受けた事もあるが、なによりも小学校一年生の時から続けている剣道を活かせるからだろう。十年後の自分は、今の私が目指す警察官になれているだろうか。

もしかしたら、十年後の自分は、なにか悩んでいるかもしれない。辛いことをたくさん経験しているかもしれない。それでもある言葉だけは、忘れないでいてもらいたい。だから私は、十年後の自分へ向けてその言葉を書き残しておきたい。

私が書き残したい言葉、それは山本五十六の男の修行だ。

苦しいこともあるだろう。

云い度いこともあるだろう。

不満なこともあるだろう。

腹の立つこともあるだろう。

泣きたいこともあるだろう。

これらをじつとこらえてゆくのが

男の修行である。

十年後の自分は、この言葉のように、私が目指したかっこいい男になっているだろうか。いや、まだ道の途中だろう。これからもたくさんさんの困難があると思うが、このような男を目指して頑張ってもらいたい。

さて、これまで十年後の自分に向けて書いてきたが、理想の自分になるには、これからの高校受験などを含め、今の私が頑張る必要があるだろう。十年後の自分には、私がしっかりと理想の男になるためのバトンを繋ぐまで待つてもらいたい。

二十三歳の私へ

北中1年 松崎 琴音

十年後、私は何をしていますか。今の私の頃のこと、覚えていますか。

十三歳の私から未来の私に伝えたいことは、「一度きりの人生を楽しんでほしい」です。

具体的には三つあります。一つ目は、何か楽しいと思えるものや熱中できるものを持つてほしいです。私は、中学校に入学して初めての夏を過ごしています。中学校ではバレーボール部に入部しました。今の私はバレーボールに熱中して取り組んでいます。バレーボールをしていて時間がとても楽しく、バレーボール部に入って良かったと思っています。二十三歳の私も、そんな風に熱中できるものに出会えていたらうれしいです。

二つ目は、自分が就く職業についてです。私の将来の夢は、子供の笑顔のために働ける職業に就くことです。私は二人のいとこや年下の子と遊ぶのが大好きです。自分が小さい頃によくしてもらった人にとっても感謝しています。だから、未来の私にはぜひ子供と関わる職業に就いて、子供たちを笑顔にしているほしいと思います。

三つ目は、家族や友人を大切にしてほしいです。あなたが今幸せなら、それは家族や友人の存在が大きいということを絶対忘れないでください。そして、家族や友人の力になれる大人になれていたらうれしいです。

最後に、今はとても暑かったり、台風で大雨だったりと天気が不安定な毎日です。十年後はどうですか。さらに最高気温が上がってしまったのでしょうか。健康を第一に考えて生活してください。健康でなければ楽し

い生活が送れません。健康第一で、毎日笑顔で一度きりの人生を思いつきり楽しんで！

未来に願いを

北中3年 矢野 凧紗

手紙を読んでいるあなたは、どこでなにをしていますか。仕事はなにをしていますか。結婚はしていますか。

聞きたいことはたくさんありますが、その答えは十年後に確かめることにします。

私は今、一年生から所属していたソフトテニス部を引退し、ちょうど受験勉強の真っ最中といったところです。数学が苦手なので、定期テストでも北辰テストでも足をひっぱってしまします。未来の私は少しでも数学ができるようになっていたらいいな。

十年後の私は社会人ですが、どうでしょう。学校生活が終わり、ドラドラと生活はしていませんか。今の私は「人のために、人に直接関わる仕事をした」と考えています。十年後の私も「人を助きたい」

この思いを強く思っているといいな。そして、「周りに助けられて生きてきた」ということをいつも忘れずにいてほしいです。

いつかあなたが誰かを支えてあげて下さいね。「やりがいがある」と思える仕事を見つけて、自分の長所をのびし、誰かのためになってください。怠けるのは絶対にだめですよ。

私は今、友達や家族、先生などの大切な人に囲まれて生きています。今がとても幸せです。十年後の私にも、大切と思える人はいま

すか。もしいるのなら、その人を大事にしてあげてください。その人を信じてあげてください。大事にした分、信じた分、いつか自分に返ってくると思います。

未来はロボットや電気自動車が実用化されると言われています。今よりも便利な生活になることでしょう。変わっていく時代、変わっていく自分。その中で私が最も望むことは、「今よりちょっとでも幸せに暮らしてほしい」ということです。どんな困難があっても、自分らしく真つすぐに生きてください。

十年後の自分へ

富士中2年 渡辺 泰成

十年後、もうすぐ二十四歳となる自分。恐らくもう社会に始めているのでしよう。どのような職業についていますか。今の自分には見当もつきません。将来、自分が何をしたいのか、今は考えても分かりません。ただ一つ分かっていえることは、それがとても大変だということ。あなたは今、何かしたいことが頭にあるのだと思います。しかし、現実として、その職ではないかもしれない。そうだとすると、今できることを精一杯頑張つて下さい。大変なこと、嫌なことなどたくさんあると思います。仕事をやめたいこともあるかもしれない。そんな時には大変なことでも、嫌なことでも全て乗り越えられるようにしてみて下さい。王貞治さんの言葉にこのようなものがあります。「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力と呼べない。」今までも努力しても上手くいかなかったと諦めて困難から逃げる

のでなく、今までの努力と想っていたものは、まだ努力と呼べるものに達していなかったと困難に立ち向かって下さい。自分も勉強や部活で様々な困難と直面しても面と向かって立ち向かい、目標達成に向け、「努力」と堂々と言えるほど全力で取り組みます。

最後に一つ、約束してほしい事があります。それは、他人のために何かをするということ。それが、仕事かもしれないし、何かのボランティア活動かもしれない。また、仕事にしても直接困っている人を助ける仕事かもしれないし、見る人を魅了するような仕事かもしれない、また、気づかないところで人の役に立っている仕事なのかもしれない。たとえどんな仕事についているとしても、あなたは自分より他人や世のために働いてほしいです。また、ボランティアも積極的に参加し、他人のために率先して何かをする。これを自分もやっていきます。だからあなたにもこの約束は守ってほしいです。

十年後の私へ

富士中3年 種橋 萌

拝啓

鈴虫の音が美しく響いてくるようになりましたが、十年後の私、いかがお過ごしでしょうか。現在の私は受験生となり、新たな学びや発見で満ち溢れた多忙な毎日を送っております。

十年後の私。あなたは今、どのような景色を眺めていますか？現在の私と比べものにならない程数多くの出会い、別れを繰り返し体験し続けた末に辿り着いた未来の居場所に、

大切な仲間や友人、かけがえのない存在はいるのでしょうか。現在の私から見える景色は、鮮やかに明るく色づいております。「受験生」という重圧を抱えながらも、個性豊かな学級で過ごしながら友人と語り合い、先生方や家族に温かく見守られながら送る毎日は、きっとこの先どのようなことがあっても、色褪せることなく未来の私へと繋がってゆくのでしょう。もし、あなたが困難な状況に陥り、現実に対し失望するようなことがあっても、今までの努力、行動、出会いや別れ、体験、抱いた感情などの過去の私の経験は、絶対にあなたを裏切ることはない、ということを忘れてください。たとえどのような状況であつても、私とあなたは確かに繋がっています。互いに決して一人ではないのです。未来の私へよりよい私自身の道を示し、繋げていくことができるよう、現在の私も本気になれるようなことを求め、日頃から様々なことに挑戦してゆきたいと思えます。

最後になりましたが、十年後の私の健康や更なる活躍を心よりお祈り申しあげます。またいつか、あなたが私を思い出したときに、会いましょう。

十年後の私。

あなたは今、幸せですか？

敬具

平成三十年九月二十四日

現在の私より

十年後の私へ

北陽中2年 永野 由華

二十四歳になった私へ。あなたは今、何をしていますか？

越谷で生まれ、越谷で育った私。今までの十四年間を振り返ると、たくさんの思い出が甦ってきます。

人見知りで、なかなか友達と話すことのできなかった幼稚園時代。たくさんの方に挑戦し、喜びと苦しみを知った小学校時代。

そして、中学生になった今は、勉強に部活、生徒会本部の仕事に一心不乱に取り組んでいます。しかし、まだ私は、うまく周りとコミュニケーションを取ることができないという悩みを抱えています。

私の住んでいる北川崎には、二百二十七年の歴史を持ち、無形民俗文化財に指定されている「北川崎の虫追い」という行事があります。私は、毎年、この行事で松明を担いでいます。地域活動に参加することで、たくさんの人と接し、コミュニケーションを上手に取ることができないかと思っています。十年後の私はどうでしょうか。ずっと地域の方々と共に松明を担いでいてくれるといいなと思います。

もう一つ、今私がコミュニケーションを取れるようになるために頑張っていることがあります。小学校一年生から習っている英語です。将来は、英語に携わる仕事に就きたいと思っていますのですが、果たしてどうでしょう。今の私の努力が二十四歳の私の力になり、中学生の時に頑張ったよかったです。夢を叶えるために、精一杯努力したいと思っています。

これからもいろいろなことで悩んだり苦しんだりすることがあると思います。それでも、試験を乗り越えて、力いっぱい生きていこうと思います。十年後の私に胸を張って会うことができるように。あなたも自分を信じて、他人を思いやり、心優しい人になってください。

未来

北陽中3年 小野寺 恋々

十年後の私たちは社会に出て働く人や大学院などの学校で学ぶ人と様々な人がいると思います。しかし、私自身が将来どんな仕事をするか自分ではまだ想像がついていません。今まで「こんな職業に就いてこんな事をした」と何度も考える機会がありました。その度に「自分には合わない無理ではないか」とマイナスな方向に考え、やめておこうと諦めてしまいます。そのため、十四歳の私は、将来の夢が明確に決まっていまいませんでした。

中学三年生になって進路について考えた時、仕事をするなら自分が好きな事をして楽しくやりたいと思いました。だから私は、将来好きな英語を活かせる職業に就きたいです。その職業に就くためには、大学などで沢山の英語を学ぶ必要があります。よりよい環境で英語を学ぶ為にも、今からしっかりと勉強をしていかなければなりません。また、私は英語でコミュニケーションを取る事は好きですが、人前に立って話す事がとても苦手です。緊張し過ぎて声が出なくなる事や、恥ずかしくて顔が赤くなってしまいう事があります。外国の人々と関わる職業という様々な内容があり、大勢の人の前で話す仕事が多く存在し

ます。今の私では、この様にすぐやめておこうと諦めずに、今後は苦手を克服していきたいです。

十年経つと、世の中は大きく変化していると思います。もしかしたら、新しい職業が生まれているかもしれません。誰が、どんな職業に就き、どんな事をしているか、それは想像がつかない事だと思っています。しかし、変わらない事は「夢は努力してつかむ」という事です。夢を叶える為に私に足りないものは、やろうとする勇氣とそれを続ける気持ちです。これから様々な事に挑戦して、強い志を持ち、努力し続けられる人に十年後成長したいです。

十年後の私

栄進中1年 木村 くるみ

十年後のあなたは笑顔でいますか。周りの人を笑顔にしていますか。

私の将来の夢は、世界で活躍するバレエダンサーになって見てくれた人を笑顔にすることです。子供の頃から音楽に合わせて踊ることが好きだった私は四歳の誕生日を迎えすぐに母にお願いしバレエを習い始めました。髪を結ってもらいピンクのレオタードを着てレッスンに出かける時のワクワクした気持ちは今でも忘れられません。

その後、小学三年生の時に栃木から両親の地元越谷に転居し新しい先生と出会い、それまでただ好きで踊っていたバレエを将来の職業として考えるようになりました。それまでの様に楽しいだけのレッスンばかりで無く、心が折れる位辛いことも多くあります。です

が私の舞台を見てくれた家族や友人たちの笑顔はその辛さをも忘れさせてくれる何事にも代え難い物です。また両親にはレッスンの送迎や食事面のサポートだけで無く、学校とバレエの両立のために、そして何より私の夢の実現のために共に向き合い、支えてもらい今の私があります。

世界の舞台で活躍するダンサーになるにはバレエのテクニクだけで無く内面から溢れる人間性が重要だと私は思います。その為にも今の学校生活の中で様々な経験をし、内面をみがき成長することが将来の目標につながると確信しています。私が目標とするロシアのバレエ団に入団するためには海外のバレエ学校への留学が不可欠となり言葉も生活習慣も違う中、家族や友人と離れ一人で頑張らなくてはなりません。今のこの思いを決して忘れず家族に恩返しが出来る様、日々努力を重ねて行こうと思います。

十年後の私へ。あなたは今どこで踊っていますか？あなたの周りに笑顔が溢れていますか？

多くの願いと私の希望

栄進中2年 大越 雅子

十年後。誰も予測できない私の未来。一体どのようなことをしているのだろうか。

私は小学生の頃から薬剤師になって、いろいろな薬を作ったりして苦しんでいる人を助けてあげたい。と強く願っています。それは身近な人だったり、病院にいる人もですが世界中の栄養失調の子供達だったりとまだまだ助けを必要としている地域にも活躍できるよ

うになりたいのです。また、十年後と短い期間ではありますが『平和に人々が暮らせる』ということを社会全体で達成できるようにしたいのです。

『平和に人々が暮らせる』ようにするためには、人工知能を使って、今より暮らしやすいように研究したりさまざまな方向から現状を確認して一人ひとりが小さなボランティアにも参加してみる事が、とても重要になってくると思います。

私自身も十年後とはいわず、今からでも身近な『環境』について節水・節電を心がけてみたり、今もまだ苦しんでいる日本の『相対的貧困』の人々や、世の中にある『貧困』の人々、東日本大震災などの災害によってまだ不安を抱えている人々の為に募金をしてみよう、と今回のことを調べてみて思いました。今はまだ年齢的にも出来ることは大人に比べてたら多くはありませんが薬剤師になったらいろいろな面で社会に協力することができ、薬剤師としては薬で命を救うことができ、一人の人間としては身体はもちろん、心も助けてあげることが出来ます。私は昔、薬で助けてもらったことから、薬剤師の仕事に就きたいと思いました。次は、私が助けられるようになり、人々を安心させられる存在になります。

十年後に必ず実現できますように…。

今、伝えたいこの思い

—十年後の自分へ—

光陽中3年 塚田 羽奈

十年後の私は何をしていますか。夢だった看護師になっていきますか。それとも違う職業をしていますか。

平成十五年、私は越谷市立病院で生まれました。私の妹も越谷市立病院でお世話になりました。私が看護師になりたいと思ったきっかけは、母が妹を出産するため入院をしていて、私が祖母とお見舞いに行つたときです。看護師さんがとても優しく接して下さり、素敵な仕事だと思つたからです。

十年後の私は、夢の実現に向けて、どのようなことが大切ですか。聞きたいことがたくさんあります。しかし今私がかつていることは、日々の努力の積み重ねが大切だということ。勉強も部活も一つ一つの練習を大切にしなければ意味がありません。十年後の未来に向けて日頃の練習の積み重ねを大切に、少しずつ看護師の夢に近づいていきたいと思います。

十年後の私に一番伝えたいことは、今までにお世話になった家族、先生、地域の方々、そして、越谷に感謝をすることです。教科書や学校の設備、中学生まで無償で病院での診察を受診できる制度など、越谷市の税金のおかげで、安心・安全に暮らすことができます。また、家族・先生・地域の方々を支えられて自分達が成長することができています。

そして、もう一つ大切なことがあります。人と人とのコミュニケーションを積極的に図ることです。コミュニケーションは、看護師はもちろん、他の職業でも大切なことです。

会話での人とのつながりを大切にしてほしいと思います。

私は、十年後の自分と、日々の努力を大切に、周りへの感謝の気持ちを忘れないことを約束します。そして、誰にでも優しく、明るく笑顔で接することができる十年後の自分になりたいと思います。「努力は必ず報われる」この言葉と自分を信じて、前に進んでいきたいです。

大人になった私へ

光陽中3年 関口 美来

十年後、越谷はどんな市になっているだろう。水と緑と太陽に恵まれた越谷は、今よりも大きく輝き、人々が笑顔になっていると思います。

越谷は今、中核市へ移行となり、福祉にも力を入れて、身近で細やかなサービスを提供しています。年々、人口が増えています。日本全体は、人口が減少する自治体が多い中でもとても良い事だと思えます。約十年前、越谷レイクタウンができ、大型ショッピングセンターは大勢の人が訪れています。住宅も多く建っており、小さい子ども達も多く見かかっています。そのレイクタウンの中心には「市民が水辺と出会える空間」として大相模調節池があります。ヨットをしたり、散歩をしたり、時にはバーベキューをして楽しむ人がいて、素敵な環境になっています。

しかし、「少子高齢化」が問題になっているのも現実です。この先も高齢化が進んでいく中で、私に出来ることは何かと考えた時に、高齢者の方に優しく接してあげることが出来る

ろん、車イスの使い方やバリアフリーがある場所などをしっかり知ることが大切になっていくと思います。そして、より介護について勉強し実践していかねければなりません。また、私は将来、子ども達と接する仕事につきたいと思っています。その未来につなぐ子どもたちに、楽しく笑顔でいられる越谷だということを教え、伝えていく役目があると思います。大人も子どもも高齢者も皆、笑顔で暮らしていける越谷を作っていかなければなりません。

十年後もこの越谷で暮らし、多くの魅力があることをたくさんの人に伝えられるようにしたいです。また、「越谷」を訪れる人にも興味をもってもらえる街作りをしていきたいです。

「夢」を見つめる

平方中3年 磯野 匠

十年後の自分は何をしていますか。どんな仕事をしていて、どこに住んでいるのですか。「夢」を持っているのですか。

僕にはまだ将来の夢がありません。「くになりたい。」「うしたい。」ということがなかなか見つからず、いつも考えています。昔はたくさん夢がありました。仮面ライダーになりたい、大工になりたい、自動車の整備士になりたい…。でも今はありません。だから未来の自分の姿が全く想像できません。とりあえず、高校、大学には進学するでしょう。でも、十年後の自分は、「二十五歳」です。社会人として生活している年齢です。今の僕からすると不安でしかたありません。先日、

学校で「進路講演会」というものがあり、異なる仕事についている二名の方からお話がありました。その方たちは僕のように夢が見つからない人たちへ向けてこうおっしゃっていました。「今見つからなくても高校、大学に行くにつれて見つけていけばいい。」と。確かにそうだと思います。でも僕は「今」夢がほしいのです。夢は自分の目標であり、それを実現するために頑張ろうと思う原動力にもなります。それがほしいのです。

だから十年後の自分はどんな姿をしているのか不安に思います。でも楽しみでもありません。特定の夢がないということは、選択肢が無限にあるということなのです。今ある選択肢を減らさないために必要な事は何か。それは「学ぶこと」でしょう。様々な事をバランスよく学べていればある程度の職には就けると考えます。十年後の自分にも学び続けてほしい。苦しいことや悲しいことがあっても「夢を見つucker」という夢を諦めないでほしいと思います。十年後に夢が叶えられていたらとてもうれしいです。頑張ってください。

未来の私への約束

平方中3年 木村 美咲

今、あなたはなにをしていますか。社会にでて、人の役に立っていますか。幸せですか。中学三年生の今、部活も引退して日々「受験生だ」と感じています。高校受験のことは覚えていきますか。この手紙をかいている私からしたら、高校受験は未来のことですが、あなたにとって高校受験は過去のことでしょう。志望校を見つけれられて、入試に臨んで合格で

きたのでしょうか。十年後じゃ大学受験も終わってますね、大学に行ったのなら。成人式も終えて、立派な大人になっていますか。昔からの友達を大切にしていますか。自分のことについて聞きたいことがたくさんあるけれど、私が聞きたいのは自分のことだけではありません。

今の日本は、平和ですか。苦しんでる人はいませんか。十年後の私は覚えているかわかりませんが、熊本で大震災がおき、西日本で平成最悪と言われた災害が起きました。千葉でも地震が発生し、埼玉もゆれました。ニュースを見るだけで苦しくなり、もしかしたら越谷にもくるのではないかと、そわそわしています。もしも越谷にも大きな災害が起きたら、田んぼが広がる越谷ではなくなってしまう。でも、私はそんな暗くなつた越谷市は嫌です。十年後も二十年後も、越谷市はきっと明るいはず。私はそう信じています。

中学三年生の私から、十年後の私へ。この先の未来のことはなにもわかりません。でも自分がやろうと思ったことは、途中で諦めずに必ずやりとげて、一日一日を大切に過ごし、近所の人や友達とたくさん関わって、越谷市を自慢できるようにすることを約束します。十年後も二十年後も、自然豊かな越谷市でありますように。

なりたい自分へ

武蔵野中1年 村中 悠那

未来の自分は、優しく礼儀正しい人になりたい。少し前の私は、こんな当たり前のことなんてできるだろうと思っていた。だが、こ

んな当たり前のことがきちんとできる人がかっこいいのだと気付いた。

そのかっこよさに気付いたのは、部活動のときだった。優しく丁寧に教えてくれた先輩の姿がとてもかっこよかった。そして、先生の前を通るときには、かがんで「失礼します。」

と言って通るなどの礼儀も部活動で学んだ。この優しさや礼儀を普段の生活にも活かそうと思う。これを毎日コツコツと続けていけば習慣になっていき、未来のなりたい自分にながっていくと思う。優しさや礼儀はもちろん、思いやりや謙虚さも合わせ持つた人になっていきたい。

私は、将来の夢がまだ明確に決まっていない。でも、海外で働いてみたいという夢がある。海外で働くということは、日本人ではない人と、日本語ではない言葉でコミュニケーションをとることが必要になってくる。その時に、もちろん言語を習得することも大事だが、先輩から学んだ優しさや礼儀、他にも思いやりや謙虚さも持つていれば、コミュニケーションがとりやすくなる。今、学んでいることが将来につながっていく。そのために、今のうちから、当たり前のことがきちんとできるような人になる。

この部活動で学んだ優しさや礼儀を忘れずに、思いやりと謙虚さも合わせ持つた人になれるように、今から目標をたてて頑張りたい。

十年後の私へ

武蔵野中1年 高橋 花歩

十年後の私は、二十三歳。まだ若いですね。今の私はどうですか。

二〇十八年の私は中学一年生です。まだまだ子供で分らない事がたくさんあります。ですが、入学当時に比べ友達が増え頼れる人もたくさんいます。今、頑張っていることは部活と勉強です。部活は女子バスケットボール部で、頑張っていることはドリブルです。理由は、利き手の右手では自由にボールをコントロールできるのですが、利き手ではない左手はなかなか上手くいかない事が多く、失敗することが多いので練習して失敗をなくせるように頑張っています。勉強は、もう本当に苦手で得意だったのは体育と音楽だけ。大人になってから役に立つものは全て苦手で、今は全然分らないけどしっかり理解して次に生かせるように頑張ります。中学校の勉強は結構大切な時期にも関係してくるから、それに備えて役に立つ勉強が身につくようにしたいと思っています。中学校三年生頃には十五位以内に入れるようにしたいです。

十年後の私は、どんな人ですか。今の私は負けず嫌いで「やる」と決めたらやりきる人だったと思います。それは十年後の私も変わっていてほしくありません。どんなに苦しい状況であっても前を向いて進んで行ってほしい。何にもできないかと思ったら誰かに手伝ってもらったりすればいい。そのかわり手伝ってくれた人が困っていたら、助けてあげればいい。どんな場でも、借りは返す。感謝の気持ちを伝えることが大事だと思う。大人になっても「あたり前」なこととは言われなくと

もやってほしい。それができて立派になれば一人前だ。

今の私ができる事はやり、大人になって必要なことが身に付くように頑張ります。だから十年後の私も厳しいことから逃げず、乗り越えていってほしい。乗り越えたら乗り越える前より必ず成長してるから。頑張れ！

二十五歳の私へ

大袋中3年 小松 桜綺

二十五歳の私、お元気ですか。夢は叶いましたか。辛いこともたくさんあるでしょう。しかし、十五歳の私からは、二十五歳という年齢はとても魅力的です。

二十五歳は、仕事にも慣れてくる頃だと思います。教師という夢も叶え、憧れの先生に少しずつ近づいているでしょう。小学六年生の時、何も出来なかった私を変えてくれたのが担任の先生でした。どんなことにも全力で取り組むことの大切さは、未来の私も一番大切にしていることだと思います。先生は私の目標とする人です。今の私も、自分の得意分野を生かし、生徒に力を与えられる教師になりたいのです。未来の私は、そんな教師になりましたか。

十年はあっという間に過ぎてしまおうでしょう。憧れの先生は、いつもたくさんの方に挑戦していました。十五歳の私だからこそ出来ることはたくさんあると思います。今、私は失敗を恐れず、たくさんの方に挑戦することを心がけています。十年後、教師になったら、今よりも大きく成長した私を、先生に見てもらいたいからです。二十五歳の私、必

ず先生に会って、たくさん話をしてくれたい。十五歳の私との約束です。

「あなたは今、幸せですか。」二十五歳の私はどのように答えますか。今は自信をもって幸せだと答えることができませぬ。しかし、未来をつくるのは今の私です。ですから、自分が信じる道を、精一杯進もうと思います。どの道を選択することが正解ということは無いです。たとえ間違えていたとしても、自分で決めたことなら後悔しないと思います。今の私には、今を全力で頑張ることしか出来ませぬ。二十五歳の私が、胸を張って幸せだと答えられるために今を懸命に生きていきます。

十年後の自分に伝えたいこと

大袋中3年 三井 陽太

高校生の自分、大学生の自分、働いている自分、二十五歳の自分。遠い未来になればなるほど、自分の姿は想像がつかない。

順調にいけば、二十五歳ならもう働き始めて、少し仕事に慣れてきている頃ではないかと思う。今の自分はストレスや疲れを心の中に溜めやすいと感じている。だから、もしもしたら、二十五ではもう疲れきっているかもしれない。そんなときの僕の心の拠り所は友達になる。自分の中のそれは、今も先も変わることはないだろう。

僕には唯一無二の親友がいる。その親友が自分の家の近くに引っ越してくることがなければ、僕は小中学校をまるまるで違う形で過ごしていたと思う。幸運なことに、僕にはその親友以外にもたくさん友達が多かった。親友の家

はすぐ近くだし、これからも切っても切れな
い関係が続いていくと思う。しかし、せつ
か小中学校で仲良くなった友達、何人か
は関わりがなくなってしまうかもしれない。
それは、友達との関わりをとでも大切に
している自分にとって、大きな打撃だ。

それをふまえて、十年後の自分に伝えたい
ことは、古くからの友達を大切にしてい
たいことだ。今まで関わってきた友達、こ
れから出会うであろう新しい友達、その一
人とずっと仲良くしていってほしい。そう
すれば、きっと自分の人生は豊かになっ
ていくと思う。

十年後も含め、将来の自分が、友達との関
係を大切にし、心の拠り所になら、辛い
物事を乗り越えていってほしいと願う。

十年後の自分へ

新栄中1年 幸田 姫希

二十二才の自分は元気ですか。今、専門学
校に行っていますか。もし行ってるなら、き
ちんと将来の夢を叶えられるように頑張っ
て下さいね。

それと、妹と弟とは仲良くやっていますか。
今は、毎日毎日ケンカしてて全然仲良くやっ
てないですよ。4人姉弟の一番上なんだから
大人になってもしつかりして、お母さん
お父さんを安心させてあげて下さい。お父さん
はまだ仕事をしていますか。今では、仕事
がいそがしく最近なかなか会っていません。
大人になってもお父さんと過ごす日々を大切
にしてください。お母さんには感謝の気持ち
を忘れないで下さい。お母さんは私達4人を一

懸命育ててくれたんだから、感謝の気持ちは
絶対に忘れないで下さい。二十二年間お父
さんとお母さんは育ててくれたし、やりたい事
をさせてくれたんだから必ず恩がえしをして
あげて下さい。

十年後の自分へ

新栄中1年 田村 聖来

私が今まで過ごしてきた、生きてきた場所
はどんなに時間が経っても変わらない。私が
10年後、20年後どこに行こうと変わらない。

私は小さい頃から「ピアノの先生になっ
てみたいなあ。」と心の中で思っていました。
でも、周りの人に「聖来の将来の夢は何？」
と聞かれると「ピアノの先生。」と言った事
は一度もありませんでした。その理由は自分
が本当にピアノの先生になりたいのかどう
か分からなかったからです。小学六年生の時
私は特別勉強ができるわけでもないし、むし
ろ頭は悪いほうでした。そんな時、私がで
きる事と言えばピアノぐらいでした。親から
も「将来音大に通ってピアノの先生になりな
よ。」と言われていました。今現在中学一年
生の私は自分でも「自分にはピアノしかと
りえがないし。やっぱり将来はピアノの先生
か。」と思っています。それに、私の住んで
いる越谷市はそんなにいい場所ではないけど、
越谷市の中のいなかかな場所に住んでいます。
そこから一人で音楽大学に通うのは自分でも
無理だと思っています。高校生になってしま
えば大学生になってしまえば、そんな思いは
消えているかもしれません。でも、もし自分
がピアノの先生として人生を進んでいるとし

たらと思うと、とてもワクワクしています。
それは、今自分が心からピアノの先生になり
たいと思ってるからだと私は思います。も
しかしたら東京に上京するのがいやだなあ
と思ってるかもしれませんが、それはそうだ
と思いません。なぜなら越谷市はとてもいい場所
だからです。特別何かがあるわけじゃないけ
ど、私にとっては一番好きな居場所です。
大人になっても、その気持ちは決して忘れ
ないでください。その気持ちを心にしまっ
て自分の好きなように、自分が一番楽しいと思
える人生を歩んでください。それが、今現在
中学一年生の私の夢です。

十年後の私が笑顔で過ごせる様に。

大相模中2年 清水 ひかり

丁度十年前、私は北海道から越谷に引っ越して来ました。十年後、二十四歳の私は、どこに居ますか。何をしていますか。

今の夢を叶えて、養護教諭になつていますか。一人でも多くの子供を笑顔にできる先生だといいな。それから、毎日笑顔を忘れない私でいてほしいです。

十年後の私は、何を大切にしていますか。今の私は、自分らしく、笑顔でいる事を大切にしています。中学生になつてから私は、素の自分で、毎日楽しく過ごしています。これは、とても幸せなことだと思っています。そして、今の私が、自分らしく、たくさん笑つていられるのは、大好きな友達や、先生がいてくれるからです。だから、いつでも、人思いやることと、大好きな人たちへの感謝を忘れない。ということも、私の大切にしていることの一つです。

いつでも自分らしく、笑顔でいることと、感謝を忘れないことは、十年たつても、変わらずいてください。そのためには、未来につながる今が大事なのだと、思います。

だから十年後、一人でも多くの子供を笑顔にできる養護教諭になるために、今、保健委員として、いつでも周りを見て行動し、クラスメイトの健康面でも、心の面でも支えられる様に心がけています。

そして、十年後の私も、素のままの自分とみんなと笑つて過ごせる様に、これからも自分らしく、大好きな友達と、楽しく笑つて過ごすことを約束します。

これらのことが十年後、毎日笑顔の私でい

られることに。私に、夢を与えてくれた先生のような、養護教諭になることにつながる様、今を一生懸命、頑張ります。

どうか、十年後の私が、周りも明るくできるほど、笑顔であふれています様に。

十年後の私へ

中学二年生の私より。

十年後の自分へ

大相模中3年 荒井 幹太

十年後の自分はどんななっているのだろうか。今、思い描いている夢が叶っているのか、それとも普通に就職をしてバリバリ働いているのか。はたまた生きているのか死んでいるのかも今の自分には分からない。この作文を書くときはつきりいつて何をかけばいいのかわからなかった。でも十年後の自分にききたいことは山ほどある。その中で一番ききたいことは、夢が叶い今も野球を続けているかどうかだ。

つい先日、ある方が夢を持っている人は強いと熱く語っていた。しかしそれは違うのではないかと思つた。夢を持っている人が強いのではなく自分を持っている人が強いのだと思ふ。誰がどんな夢を見ようとその人の勝手だ。しかし必ずしも叶うものではない。だから壁にあつたとき、夢よりも心の中にしっかりとした自分がある方がよりよい選択ができるのではないかと思う。十五歳という年齢で将来を見せるといふことは極めて難しいことだと思ふ。つまり将来の「夢」ばかりにとられすぎるのはどうなのかということだ。これから自分はよっぽどのがなけ

れば高校に進学し大学にも行くだろう。その中で新たな友人や先生なども出会い価値観も変わってくると思う。そして自分の進むべき道も変わってくるかもしれない。でもそんな時でも私は心の中に自分をしっかりと持ち続けたい。そのために今やるべきことをがむしやりに全力で取り組みることが今の私にできる唯一のことだ。

十年後、この作文を読んだ自分がどんな形でなになつていようと「やれるだけやったんだ後悔はない」と自信を持って言える人でありたい。

あきらめずに今を

千問台中1年 須田 亜実香

あなたが読む10年前の今、私はこの手紙を書いています。10年後の自分は、二十二歳か二十三歳だと思ひます。そんな10年後の今、どこでこれを読んでいるか、どんな気持ちでこの手紙を手にかけているか、誰と読んでいるか、もしくは一人で読んでいるか、今の私では全くわかりません。未来へのこれからの道は広く、何事にも可能性は無限大です。だからこそ、今この時間の一瞬一瞬を大切にしています。そして、一つだけ約束したいことがあります。それは、何があつても、自分の今の夢にあきらめずに進むことです。

私は今、将来の夢がありません。なので、未来の自分が何をしているか、全くわかりません。でも、未来の自分がどうあつてほしいのかを考えることで、少し未来が見えるような気がしました。それは、結果が残るもの、達成感が出るもの、目標に向かって努力でき

るものの3択です。これらに目覚めた理由は部活です。色々なことに興味を持ち始めた今、私は部活に打ち込んでいます。最近あった初めての大会でうまくいかず、泣きそうでした。でも、親友の「絶対あきらめちゃだめだよ。」という強気の言葉が、私を前向きにさせてくれました。そして、大逆転で初めて取った一勝は、大きな喜びであり、大きな自信になりました。部活ほど、真剣に取り組みががんばったことはありませんでした。目標に向かってがんばったあとに残る結果は、きつとどんなものであろうと、これからの自分を強くしてくれると思います。

今までのこと、そしてこれからのことも、10年後の自分に繋がっていると思います。あきらめずに勝ち取った「何か」は、私に大きな目標と自信をくれると思います。だからこれからも、約束を胸に、自分の道を歩んでください。

忘れてはいけない二つの事

千間台中一年 倉淵 咲名

二十二歳、十年後の私へ

こんにちは。十二歳の貴方です。元気に過ごしていますか。

私は今、少し慣れてきた中学校で一生懸命勉強したり、部活で絵を描いたりしています。学校以外の時間も習い事や宿題があつて大変ですが、楽しい事が沢山あつて充実した毎日を送っています。

そして、私は将来図書館の司書になりたいと思っています。ただ本が好きで、本に囲まれて出来る仕事だからという理由もありま

す。でも、一番の理由は「良い図書館を創って、利用者さんの笑顔をつくりたい」からです。今は図書委員として、返却作業や本の整理を精一杯頑張っています。

貴方は今、どんな事をしてますか。社会人一年目か、まだ仕事を探しているか、それとももっと勉強するために海外留学しているか。司書になっていないなくても、貴方が就いた仕事が目指していたものであるのなら、していても楽しいはずですよ。父は前、こう言ってくれました。

「好きな事は好きなだけ、心ゆくまでやりなさい。」

この言葉は、ずっと大切にしています。私は今、読書と絵を描く事が好きです。二つとも、家や習い事で行っていた小学校の頃より、読書時間が増え、部活で沢山絵を描ける今の方が格段と楽しく感じます。だから好きな事を心ゆくまでやって、沢山楽しんで欲しいです。

そして、どんな時でも、笑顔は欠かしてはいけなと思います。辛い時や悲しい時に少しでも笑ってみると、明るく、前向きになれるはずですよ。

「好きな事を心ゆくまで」「笑顔でいること」この二つを忘れないで下さい。私なら、貴方なら、きつと大丈夫ですよ。

十二歳、十年前の貴方より